

平成27年度予算見積調書

課室名：農業支援課
 担当名：農業革新支援担当
 内線：4055

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B50	新品種・新技術導入広域推進事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業経営普及費	普及活動推進費	
事業期間	平成24年度～平成28年度	根拠法令	農業改良助長法				戦略項目	08 埼玉農業の競争力強化	
							分野施策	030201 収益力ある農業の確立	
<p>1 事業の概要</p> <p>埼玉農業の競争力の強化に資するため、試験研究機関等で開発された新品種や新技術について普及を推進するとともに、産地、試験研究機関、実需者によるコンソーシアム候補の形成を支援し、産地の収益力の向上、担い手の育成を図る。</p> <p>(1) 新品種・新技術導入広域推進事業 9,016千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>現在、有効活用されていない品種、技術や新たに開発された品種、技術を発掘し、「強み」のある産地形成を図るため、</p> <p>ア 埋もれた品種、技術等の発掘評価</p> <p>イ 産地、実需者との実証等を通じたコンソーシアム候補の形成の取組を支援する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 埋もれた品種、技術等の発掘評価</p> <p>導入する7つの新技術、新品種について現地実証を通じて有用性を明らかにし、産地・実需とのマッチング活動を支援する。</p> <p>イ 産地、実需者等との実証等を通じたコンソーシアム候補の形成</p> <p>産地、研究機関、実需者等と連携し、当該技術、品種を核にした産地実証を進め、コンソーシアム候補を形成する。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>新品種・新技術を活用した生産技術が普及・定着を通じ、コンソーシアム候補が形成され、産地の収益力向上、担い手の育成につながる。</p> <p>(4) 関係機関との連携</p> <p>新技術、新品種の実証及びそれらの活用方法や展開方策、コンソーシアム形成に向けた活動方針等の検討を行うために、実需者、生産者、試験研究機関等と連携する。</p> <p>(5) その他</p> <p>前年度との変更点：事業内容の見直し(改廃 11課題 7課題)</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>(国定額・県0)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>普通交付税(単位費用)</p> <p>(区分) 農業行政費</p> <p>(細目) 農業経営振興費</p> <p>(細節) 指導普及費</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×24人=228,000千円</p>									
財 源 内 訳									
予算額		国庫支出金						一般財源	前年との対比
決定額	9,016	9,016							2,761
前年額	11,777	11,777							